

本間さんに聞きました

地域で活動したいと思ったら、
まずどうしますか？

わたしなら妻に相談しますね。夫と妻とでは地域とのかかわり方が違うだろうし、きっかけも広がると思います。まず家族に相談することで、具体的な方法が見つかるのでは。



ほんま まなぶ
本間 學さん(42)

■ 職業 南区 / 高山植物の生産・卸事業経営

■ 家族構成 妻、長男(中3)、次男(小5)、母

■ ある一日の流れ
AM 4:30 起床、事務作業
7:00 江別の仕事場へ
10:30 清田区の仕事場へ
PM 2:00 授業準備
3:30 地元の小学校で花壇授業
6:30 夕食
7:30 清田区の仕事場へ
11:00 就寝



地域活動

CASE

元気の源は子供たちの
笑顔に出会える喜び

高山植物の生産・卸業を営む本間さん。PTA会長や青少年育成委員など、地域の中で多くの役割を担うとともに、植栽指導や園芸講演など、自らの知識と経験を生かした活動をしています。仕事と地域での活動を両立させている本間さんの元気の源とは!?

本間さんの仕事は、高山植物の生産。澄川の自宅、真栄の畑、取引先の間を歩き来する毎日を送っている。園芸会社勤務後、結婚を経て九年前に独立。夫婦で力を合わせ、事業を続けてきた。多忙な日々だが、本人は「植物は手を掛けた分だけ良くなるのが分かる。それが楽しい」と笑顔だ。

忙しい仕事の傍ら、地元の小学校の児童に花の植え方を教えたり、子ども会でキャンプを催したりするなど、主に子供たちと交流する活動を行っている。始まりは二十代前半のころ。社会人になったことで、社会奉仕に関心を持ち、子供たちの野外活動に参加したのがきっかけだった。

「元は子供好きではなかった」という本間さんだが、活動を続けるうちに、子供たちの明るさ、元気にみるみる魅せられていく。「地域で新たな行事を企画し、実行するノウハウは、仕事にも大いに役立ちました」と、仕事にも良い影響があったようだ。仕事と地域活動は「どちらも自分と家族のためになること」であり、そう思えば、両立できるといふ。



子供といるのが
大好きな夫です

ひろこ
妻：浩子さん

夫は、仕事と家庭の切り替えがすごく上手。仕事中は寡黙で真剣、家ではぎやかで楽しいです。子供に対して苦勞を惜しまない姿勢はすごいと思います。後は、もう少し話を短くしてくれるといいかな。

